

令和8年度な tantan 子育てフォーラムを開催しました！ (京都府PTA指導者研修会南丹大会)

～みんなで育もう 家庭・地域のたからである子どもたちを～
日時：6月28日(日)午後1時～ 場所：京都医療科学大学

当日は、保護者・PTA会員や学校教育・社会教育関係者など子育て支援に関係する方、**約150名**の参加がありました。

本フォーラムは、南丹教育局と南丹地区子育て支援協議会の主催で開催をしています。参加者の感想とともに紹介します。



講演

演題：「遊び・体験・学び

～子どもが育つ大切な時間～」

講師：独立行政法人国立青少年教育振興機構

理事長 **青木 康太郎 様**

(あおき こうたろう)



参加者の声

体験の充実とは・・・
たくさんさせること
ではなく、子どもの
「やりたい」という気持ちに
応え、その希望を叶える
環境を整えていくこと。

自然体験の大切さのことなどについて多くのことを学びました。当然これまでもこうした経験は大切だとは思っていましたが、そのことを明確にお話いただいたことが何より良かったと思います。なぜ自然なのか体験なのか、それがどのように子どもの成長に繋がるのかなど、とてもわかりやすく良かったです。ありがとうございました。

「やってみたい」という意欲や
失敗を重ねて試行錯誤する
ことが学びにつながることや、
“体験”を通して生きた知識が
身に付くことを教わりました。

自然体験から学ぶことは本当にたくさんあると思いました。「これは何？」という子どものつぶやきから広がる世界には多くの体験が生まれ、それからさらに多くの学びが広がっていくと思いました。AIが進む中、人にできること、人にしかできないことがあることを知り、人間の強みが生きる時代を過ごすこの子どもたちに、その時々によりしっかり判断できる力を幼いころからの多くの体験を通して学ばせていきたいと思いました。

単に体験するだけでなく、それが生きた体験、学びにつながる体験となることが大切だと常々思っていたので、感性をくすぐり、好奇心や探究心につなげていく体験が大切だというお話に大変共感しました。子どもたちに豊かな体験を提供できるよう、多くの選択肢をもてるようにしていきたいと思いました。

普段地域で自然体験を企画する活動をしているので、子どもの体験の質についての話はとても参考になりました。せっかく身近に自然がある地域なので、ここに住んでいる子どもたちには豊かな体験をたくさんして欲しいと思います。



開会あいさつ



杉本 学 会長

大会宣言



榎川委員・塚本座長

令和8年度南丹地区子育て支援協議会委員の紹



各分科会の様子

A分科会

講師：国立青少年教育振興機構
理事長 青木 康太郎 様

家庭や地域でできる体験活動



・自然の中での遊びを通して「学びたい」や「知りたい」という感性が生まれてきます。体験を通して自ら学べば生きた知識が身につきます。AI社会において、原点に返って、子どもたちと一緒にいかに学びを深めるかを考え直す良い機会となりました。



・地域のつながりが子どもたちの成長に関わっていると気づきました。地域活動が広がる取組が考えていけるとよいと思いました。

B分科会

講師：えほん館
代表 花田 睦子 様

大人も子どもも中高生も楽しめる絵本



・「読んで」と子どもが持ってきてくれるこの瞬間や声、笑顔を大切に、積極的に読んであげようと思いました。



・改めて絵本の魅力を感じることができた時間でした。「絵本にはまちがいはなく、それぞれの感想があっている」という言葉で安心して絵本の世界に浸ることができました。

C分科会

家族みんなで食を楽しもう



・「食」という大きいテーマでしたが、様々な家庭の様子なども聞くことができました。新鮮でもあり参考になるグループワークでした。

・普段食育について他の家庭の方と話す機会がないので、とても参考になりました。

D分科会

実践発表者：園部小学校PTA
会長 高屋 竜児 様

不安を期待に



・PTAがどのような心構えであれば皆にとって幸せかグループで話し合うことができました。とても有意義な時間となりました。

・PTAのより良い姿について考えた。保護者の思いと教師の思いを共有し子どものために協働できる組織作りを目指し取り組んでいきたいと思った。

E分科会

講師：京都府ネット安心アドバイザー
今野 圭子 様

子どもを守る大人のための情報モラル講座



・大人の責任として子どもたちをSNSの危険から守ることが必要。そのためには信頼関係のもとで、ルール作りなどをしていく。「立ち止まって考える」、これは大人もそうであるように思います。

・具体的に分かりやすく話していただいたのでよかったです。ネットトラブルについて、大人の立場から子どもたちにどのようなところに気をつけさせるのがよくわかりました。